

授業科目 (科目ID)	保育の理解と方法Ⅱ		担当教員 (実務経験)	櫻井かおる 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 別紙1参照	
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	15回	時間数 30時間
授業目的	・園生活の様々な場面(四季の移り変わりや行事など)で歌われる歌を、ピアノで演奏したり歌唱できるようにする。主に、童謡を中心に学習を進める。				
到達目標	・実際の保育現場で子どもと一緒に活動に取り入れられるように余裕を持ち演奏ができ、かつ歌唱内容にあった表現ができるようになる。				
テキスト・ 参考図書等	改訂 ポケットいっぱいのおた／鈴木恵津子、富田英也／教育芸術社				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	85%	実技試験・授業毎の課題曲演奏状況		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	15%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	弾き歌い、ハ長調の練習	手をたたきましょう、大きな栗の木の下で		
	2	弾き歌い、ハ長調の練習	手をたたきましょう、大きな栗の木の下で		
	3	弾き歌い、ハ長調の練習	どんぐりころころ、とんぼのめがね、すうじのうた		
	4	弾き歌い、ハ長調の練習	どんぐりころころ、とんぼのめがね、すうじのうた		
	5	ハ長調の練習	ゆき、たなばたさま、チューリップ、山の音楽家		
	6	ハ長調の練習	ゆき、たなばたさま、チューリップ、山の音楽家		
	7	ハ長調の練習	ゆき、たなばたさま、チューリップ、山の音楽家		
	8	弾き歌い、やや難しい伴奏で歌う	うみ、こいのぼり、たきび、ぞうさん、めだかのがっこう		
	9	弾き歌い、やや難しい伴奏で歌う	うみ、こいのぼり、たきび、ぞうさん、めだかのがっこう		
	10	弾き歌い、やや難しい伴奏で歌う	きよしこのよる、おしょうがつ、うれしいひなまつり		
	11	弾き歌い、やや難しい伴奏で歌う	きよしこのよる、おしょうがつ、うれしいひなまつり		
	12	弾き歌い、やや難しい伴奏で歌う	おなかのへるうた、おもいでアルバム、もみじ、アイアイ		
	13	弾き歌い、やや難しい伴奏で歌う	おなかのへるうた、おもいでアルバム、もみじ、アイアイ		
	14	弾き歌い、やや難しい伴奏で歌う	おもちゃのチャチャチャ、大きな古時計、いぬのおまわりさん		
15	まとめ	振り返り・試験			

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校

保育未来学科

授業科目 (科目ID)	保育実習 I (施設)		担当教員 (実務経験)	巴 夏樹 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 保育士として児童養護施設に勤務	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)		時間数 90時間
授業目的	観察や子どもとの実際の関わりを通して子どもへの理解を深めるとともに、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に学ぶ				
到達目標	現場実習を通して、施設や保育士の役割、利用者の様子などについて理解を深める				
テキスト・ 参考図書等	実習要項				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	実習先からの評価、訪問指導時の準備・態度・報告内容、提出物等をもとに総合的に評価する		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	30%			
	その他	70%			
履修上の 留意事項	詳細は実習要項に記載				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
		施設の役割と機能	施設における子どもの生活と保育士の援助や関わり		
			施設の役割と機能		
		子どもの理解	子どもの観察とその記録		
			個々の状態に応じた援助や関わり		
		施設における子どもの生活と環境	計画に基づく活動や援助		
			子どもの心身の状態に応じた生活と対応		
			子どもの活動と環境		
			健康管理、安全対策の理解		
		計画と記録	支援計画の理解と活用		
			記録に基づく省察・自己評価		
		専門職としての保育士の役割と倫理	保育士の業務内容		
			職員間の役割分担や連携		
			保育士の役割と職業倫理		

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校

保育未来学科

授業科目 (科目ID)	保育実習指導 I (施設)	担当教員 (実務経験)	巴 夏樹 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 保育士として児童養護施設に勤務		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	演習	授業回数(1回90分)	15回	時間数	30時間
授業目的	保育実習の意義・目的、実習の内容を理解し、自らの実習課題を明確にして実習に取り組み、新しい学びや気づきを得る。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 事前指導で学んだことを活かし実習で実践できる 事後指導を通じ、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする 				
テキスト・ 参考図書等	実習要項				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	調べ学習の取り組み状況、グループワーク参加状況、提出物等を総合的に評価する。		
	レポート	20%			
	小テスト	%			
	提出物	60%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項	板書、プリント、ビデオ、グループワーク等、実習は今までに学んだことを実際の保育の場で実践し、成果を確かめる機会です。厳しい実体験の中から学校では得られない貴重な事柄をたくさん学びます。身につけていること、さらに高めなければならないことを整理して残り少ない期間を有効に過ごしましょう。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	実習の意義と目標・概要・心構え		
	2	福祉施設について	養護系施設について		
	3	福祉施設について	障がい系施設について		
	4	福祉施設について	通所系施設について		
	5	実習事前オリエンテーションについて	オリエンテーションについての注意事項		
	6	福祉施設実習について	実習先施設について		
	7	実習要項・目標について	実習要項・実習目標設定について		
	8	実習記録について	実習ファイル等関係書類の確認・実習記録の意義、実習日誌の書き方		
	9	施設実習へ向けた総括	実習生の心得・注意、実習評価、実習報告書の記入、励ましの言葉		
	10	まとめ①	実習報告会・反省会・個別指導		
	11	まとめ②	実習報告会・反省会・個別指導		
	12	まとめ③	実習報告会・反省会・個別指導		
	13	まとめ④	実習報告会・反省会・個別指導		
	14	まとめ⑤	実習報告会・反省会・個別指導		
15	まとめ⑥	後輩への指導・礼状の送付			

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校 保育未来学科

授業科目 (科目ID)	保育・教職実践演習		担当教員 (実務経験)	浦島葉子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 幼稚園教諭として幼稚園に勤務	
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	30回	時間数 60時間
授業目的	各科目の学習状況を踏まえそれぞれの到達度を確認し、自己課題を発見する。保育者として求められている資質・能力を確認し、行事を企画、構成し実践する過程において協調性・創造性・積極性を養う。				
到達目標	将来保育現場において柔軟に対応していけるような実践的な指導能力を身につける。また、行事の企画運営ができる。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	提出物、課題の理解、グループワークでの協調性・積極性、実践への参加状況		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
	その他	80%			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	教科の趣旨及び内容について 保育者に求められる資質・能力について・自己課題の抽出		
	2	行事企画・準備について	ポスター・カード制作 (デザイン案・役割分担・計画)		
	3	〃	ポスター・カード制作 (制作作業)		
	4	〃	ポスター・カード制作 (制作作業)		
	5	〃	ポスター・カード制作 (制作作業)		
	6	〃	ポスター・カード制作 (制作作業)		
	7	演目・構成について	台本読み合わせ・各種分担について		
	8	〃	各役割による立案		
	9	〃	創作活動		
	10	〃	〃		
	11	〃	〃		
	12	〃	〃		
	13	〃	制作物の進捗状況を確認し今後の活動を検討する(各担当)		
	14	中間評価と目標の再確認	再検討した内容を改善し各役割で準備を継続する		
15	発表に向けての取り組み	全体の流れや内容の精査			

履修主題・履修内容	16	”	各グループ通し稽古
	17	”	各グループ通し稽古
	18	”	全体練習
	19	”	会場設営
	20	”	全体練習
	21	”	全体練習
	22	”	最終リハーサル
	23	”	最終リハーサル
	24	”	合同リハーサル
	25	行事開催	姉妹園参加(年長児)の行事実施・振り返り
	26	振り返り	開催時の映像を見て各グループで反省と意見交換
	27	振り返り	意見交換を基に実践の記録を行い反省内容や課題を視覚化する
	28	振り返り	意見交換を基に実践の記録を行い反省内容や課題を視覚化する
	29	振り返り	振り返り内容の発表
	30	まとめ	自己評価・2年間の学びを振り返る

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校

保育未来学科

授業科目 (科目ID)	タッチレッスンⅢ		担当教員 (実務経験)	上山 七々子 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	15回	時間数 30時間
授業目的	1. 1年次で学んだことを基礎とし、企画、運営の実践力及び総合的な表現力を養う。 2. 保育や福祉に関する施設の理解を深める。また、専門分野における実践的な技術や知識を学ぶ。				
到達目標	1. 1年次の基礎を生かし、自分たちで企画、運営、実践することができる。 2. 保育や福祉施設について理解し、専門分野における技術や知識を習得する。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	見学や体験の参加態度、表現、見学・体験・鑑賞のレポート、グループでの発表等を総合して成績評価を行います。		
	レポート	40%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
その他	60%				
履修上の 留意事項	グループ活動、及び表現活動、学外施設の見学や鑑賞及び体験等、この科目は、感性を豊かにすること・実体験を通して保育現場での即戦力となる知識や技能を養うことを第一の目標にしています。豊かな感性で、子どもの気持ちを受け止めることができるために必要な授業です。積極的に行動し、心から楽しんで参加して、いろいろな経験をしましょう。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	感受性を育てる	観劇1を通して、感性を養う		
	2	感受性を育てる	観劇2を通して、感性を養う		
	3	感受性を育てる	芸術鑑賞を通して、感性を養う		
	4	企画、運営の実践	音楽合同発表会		
	5	企画、運営の実践	1年生を迎える会の企画運営をし、実践力を養う		
	6	企画、運営の実践	1年生を迎える会の企画運営をし、実践力を養う		
	7	企画、運営の実践	子育て支援活動企画		
	8	保育や福祉に関する理解を深める	特別支援学校見学(視覚支援学校)を通して、障がいについての理解を深める		
	9	保育や福祉に関する理解を深める	姉妹校連携授業1(こどもの歯科衛生)		
	10	保育や福祉に関する理解を深める	姉妹校連携授業2(こどもの視覚障害)		
	11	保育や福祉に関する理解を深める	実習報告会(保育所)		
	12	保育や福祉に関する理解を深める	実習報告会(保育所)		
	13	保育や福祉に関する理解を深める	実習報告会(施設)		
	14	保育や福祉に関する理解を深める	実習報告会(施設)		
15	まとめ	まとめ 振り返り			

授業科目 (科目ID)	タッチレッスンⅢ	担当教員 (実務経験)	櫻井 かおる 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
対象年次・学期	2年・通年	担当教員	浦島 葉子
授業形態	演習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園教諭として幼稚園に勤務
		担当教員	長谷川 香
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	巴 夏樹
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 保育士として児童養護施設に勤務
		担当教員	平原 由衣
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 保育士として保育園に勤務
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2022年度

専門学校北海道福祉・保育大学校 保育未来学科

授業科目 (科目ID)	形態別介護技術Ⅱ		担当教員 (実務経験)	前佛 誠 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	15回	時間数 30時間
授業目的	介護上のポイントと具体的な介護技術を学ぶ。基本的福祉用具について、その使用方法と介助の注意点を身につける。また、保育未来学科に学ぶ者が、視覚障害者(盲人)用文字としての点字を正しく理解し、障害者のコミュニケーション手段として、ある程度活用できることは意義深いことである。読み方、書き方の基礎・基本を中心に、正しい表記法で簡単な点字文章が書ける程度までを期待したい。また、点訳ボランティアに興味を持っていただけるとありがたい。				
到達目標	障がいをもつ対象に適した対応ができる。点字表記法の基本を理解し、簡単な点字文章の読み書きができる。				
テキスト・参考図書等	プリント教材・点訳のしおり 2019(令和元)年6月20日新版発行(社)日本点字図書館				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	定期試験、実技演習時の提出物・習熟度や、点字については、毎回の提出物の評価及び「読み」・「書き」を中心としたテストにより総合的に成績評価を行う。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	10%			
その他	10%				
履修上の 留意事項	障がいをもちながらも自立した生活を送るためにはどのような援助が必要となるのか、対象者の立場になり一緒に考え、学んで欲しいと思います。実技も取り入れた授業を展開します。積極的な参加姿勢で臨んでください。また、点字についてはプリント及びテキスト「点訳のしおり」を活用し、いずれの回も点字文を作成し、毎回提出。点字は「読む」場合と点字盤で「書く」場合とでは表裏の関係になる。毎時間の授業が常に大切である。8回という非常に少ない授業時数であるので、気を抜くことなく参加することを期待する。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	形態別介護技術を学ぶにあたって	・形態別介護技術を学ぶ意義と必要な知識、・運動機能障がいと麻痺についての医学的理解		
	2	障がいの理解	・生活障がいとICFの理解		
	3	視覚障がい者の介護	・視覚障がいの医学的理解、・疾患と生活の理解、・視覚障がい者の生活理解		
	4	視覚障がい者の介護(演習含む)	・基本となる支援の視点・移動時の介護技術(ガイドヘルプ)、・コミュニケーションの方法		
	5	聴覚・言語障がい者の介護	・肢体不自由者(児)の生活の理解、・ボディメカニクスの原理		
	6	肢体不自由者の介護	・肢体不自由者(児)の生活の理解、・ボディメカニクスの原理		
	7	肢体不自由者の介護(演習含む)	・車椅子の操作方法・身体介護の留意点(体位変換・移乗) ・福祉用具の活用方法		
	8	点字:オリエンテーション・盲人用文字	視覚障害者と文字、点字の歴史、身の回りの点字、50音		
	9	点字の読み書き(1)	濁音、半濁音、拗音、撥音、促音、長音、数字 等		
	10	点字の読み書き(2)	アルファベット、外来語、各種記号、各種点字器 等		
	11	点字の表記法(1)	仮名遣い、数字・アルファベットを含む文 等		
	12	点字の表記法(2)	分かち書きの原則① 等		
	13	点字の表記法(3)	分かち書きの原則② 等		
	14	書き方の形式	分かち書きの原則③ 各種書式、点字文章の読み書きドリル等		
15	点字文章の作成とまとめ	点字表記法の復習、点字文文章作成、まとめ			

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校 保育未来学科

授業科目 (科目ID)	実践ピアノ		担当教員 (実務経験)	櫻井 かおる 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・後期		必修・選択区分	選択必修	単位数 1単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	15回	時間数 30時間
授業目的	保育の現場において音楽活動を行うために必要なピアノ技術を習得する。				
到達目標	コードネームを理解し、簡易な伴奏付けができる。子どもたちと行う音楽活動に必要なピアノの演奏ができる。				
テキスト・ 参考図書等	改訂 ポケットいっぱいのうた／鈴木恵津子、富田英也／教育芸術社 プリント配布				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	30%	・実技試験(移調奏) ・連弾曲完成状況 ・ 移調楽譜提出状況		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	30%			
	その他	40%			
履修上の 留意事項	繰り返しの練習が必要となるため、毎日練習すること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	授業の進め方について		
	2	コードネームの理解	メジャーコードとマイナーコードについて、和音の構成を知る		
	3	こどものうた① 伴奏	コードネームによる伴奏付け(C,F,G)、セブンスコードについて		
	4	こどものうた② 伴奏	コードネームによる伴奏付け②(D,B♭,C7,D7,F7)、調性の理解		
	5	こどものうた③ 伴奏	伴奏のアレンジ法①		
	6	こどものうた④ 伴奏	伴奏のアレンジ法②		
	7	こどものうた⑤ 伴奏	活動立案 見極め実技テスト		
	8	ピアノアンサンブル①	鍵盤楽器でのアンサンブル		
	9	ピアノアンサンブル②	鍵盤楽器でのアンサンブル		
	10	ピアノレッスン①	各自のレベルに応じて個人レッスンを行う		
	11	ピアノレッスン②	各自のレベルに応じて個人レッスンを行う		
	12	ピアノレッスン③	各自のレベルに応じて個人レッスンを行う 連弾		
	13	ピアノレッスン④	各自のレベルに応じて個人レッスンを行う 連弾		
	14	ピアノレッスン⑤	各自のレベルに応じて個人レッスンを行う 連弾		
15	まとめ	発表、振り返り			

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校

保育未来学科

授業科目 (科目ID)	こどもと運動指導	担当教員 (実務経験)	上山 七々子 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	選択必修	単位数	1単位
授業形態	演習	授業回数(1回90分)	15回	時間数	30時間
授業目的	こどもの特徴を理解し、こどもの発達、年齢に合わせた運動あそびの展開ができるようにプログラムを立て、実践する。				
到達目標	様々な運動遊びについて理解し、こどもの発達、年齢に合わせた運動指導をおこなうことができる。				
テキスト・ 参考図書等	授業内で資料を配布します。				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	<提出物> 提出期限・内容についての評価 <その他> 課題への積極性・創意工夫・チームワーク・実践授業の参加状況による総合評価		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	40%			
	その他	60%			
履修上の 留意事項	実技を中心に行います。運動に適した動きやすい服装で授業に参加してください。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	運動あそびと環境		
	2	運動あそびと指導方法	集団あそびについて		
	3	〃	指導の基本と指導案作成について		
	4	年齢に合わせ運動あそび	年齢別の特徴と指導について		
	5	〃	指導計画と実践①		
	6	〃	指導計画と実践②		
	7	〃	指導計画と実践③		
	8	〃	指導計画と実践④		
	9	〃	指導計画と実践⑤		
	10	個々の能力に合わせた支援	実践の振り返り・こどもの発達の理解と支援		
	11	運動あそびの実践	目的に合った運動プログラム(作成)		
	12	〃	目的に合った運動プログラム(実践練習)		
	13	〃	目的に合った運動プログラム(実践)		
	14	〃	目的に合った運動プログラム(振り返り)		
15	まとめ	運動あそびの復習・ポイントの整理			

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校

保育未来学科

授業科目 (科目ID)	ことばと造形	担当教員 (実務経験)	浦島葉子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 幼稚園教諭として幼稚園に勤務		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	選択必修	単位数	1単位
授業形態	演習	授業回数(1回90分)	15回	時間数	30時間
授業目的	・年齢に合わせた製作実践を学び、製作活動の楽しい展開方法を考える。				
到達目標	・子どもの手指の発達を理解し、子どもの発達年齢に合った製作活動の指導計画を立案、実践ができる。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	提出物・グループワーク参加状況を総合して評価します。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	80%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	こどもの手指の発達、手遊び、製作の基礎を知る		
	2	発達年齢に沿った理解	製作の指導案作成		
	3	発達年齢に沿った理解	製作活動の準備		
	4	発達年齢に沿った理解	製作活動の準備		
	5	保育園実践	子ども達の実際の反応を知り、理解を深める		
	6	振り返り、まとめ	振り返り、まとめ		
	7	指導案立案	保育園実践を踏まえての指導案立案における再考、留意点等		
	8	指導案立案	3, 4, 5歳児での指導案立案、準備		
	9	指導案立案	3, 4, 5歳児での指導案立案、準備		
	10	指導案立案	3, 4, 5歳児での指導案立案、準備		
	11	指導案立案	3, 4, 5歳児での指導案立案、準備		
	12	実践	実践		
	13	実践	実践		
	14	振り返り	グループワーク		
15	まとめ	振り返り			

2023年度

専門学校北海道福祉・保育大学校 保育未来学科

授業科目 (科目ID)	こどもとリズム表現	担当教員 (実務経験)	櫻井 かおる 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	選択必修	単位数	1単位
授業形態	演習	授業回数(1回90分)	15回	時間数	30時間
授業目的	1年次で経験した4. 5歳児でのリズムの実践を踏まえ、グループでの実践から1人での実践が行えるように知識と技術を学ぶ。こどもにつけさせたい力を意識した活動を理解し、指導内容を考察する。拍子・ニュアンス・即時的な反応・音の聴き分け・歌唱等を学ぶ。				
到達目標	3. 4. 5歳の発達に合わせた指導案を立案することができる。保育園でのリズム実践を1人～2人で行うことができる。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	・指導案作成の取り組み状況・実践授業への参加状況・振り返り内容の精査状況		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	40%			
	その他	60%			
履修上の 留意事項	授業だけでなく継続したピアノ練習やリズム練習が必要です				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	1年次において習得した内容の確認 今後の授業の進め方について		
	2	基礎リズムの理解・指導案の理解	基礎リズムをステップする ボディーパーカッション		
	3	指導案作成①	4、5歳児の活動を考える。3人程度で実践に向けた練習		
	4	保育園実践①	4.5歳児の活動を3人で行う		
	5	保育園実践①	"		
	6	振り返り	録画を見ることからこどもの発達の様子を確認 活動内容の精査		
	7	指導案作成②	4、5歳児の活動を考える。2人程度で行う実践に向けた練習		
	8	保育園実践②	4.5歳児の活動を2人で行う		
	9	保育園実践②	"		
	10	振り返り・即興について	振り返り、活動にあった即興演奏の理解と練習		
	11	指導案作成③	4、5歳児の活動を考える。2人程度で実践に向けた練習		
	12	保育園実践③	4.5歳児の活動を1～2人で行う		
	13	保育園実践③	"		
	14	振り返り	録画された自身の指導を確認する。そこからさらに指導を向上するための方法を考察する		
15	まとめ	今までの実践の振り返りを行う。保育現場において一人で活動する場合の課題を明確化する。リズムが子どもにどのような効果をもたらすか考察する			